

歴史書

1

2011
No. 193



通信

近世実録の魅力／菊池 庸介
歴史書新刊ニュース〈11・12月〉
歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈11・12月〉
会員社刊行の2010年受賞図書
歴史リバイバル2010フェア参加書店一覧

歴史書懇話会

近世実録の魅力—民衆にとっての事件像

菊池 庸介

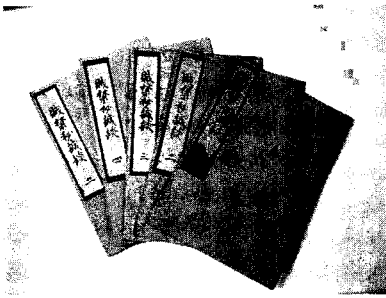
(福岡教育大学准教授)

学部生時代の卒業論文で扱って以来、近世の実録(実録体小説、あるいは実録本など)を、主なテーマとして研究を続けてきた。あちこち壁にぶつかりつつ、時には離れたいと思いつつも、実録のふしぎな魅力にとりつかれている。

読者の中には、「実録」という語が専門用語として存在することをご存じない方もおられるであろう。簡単に言えば実録とは、近世に出現した写本読み物の一群で、当時の人々の関心を集めた事件(や人物)の顛末を、まとまった筋立てで書き綴ったものである。商業出版が盛んであった江戸時代において版行されなかったのは、幕府方にとって都合の悪いことも書かれており、出版が控えられたからである。このような事情もあり、作者の実態が不明なものも多く、また何年に書かれたのかを特定することはほぼ無理である(ただし、江戸時代のどれぐらいの時期に作られたかまでは、見当のつくものも少なくない)。

どんなものが実録として読まれたかという点、「大岡政談」のような裁判話、「伊賀越え敵討ち」や「赤穂浪士」で有名な敵討ち、「伊達騒動(寛文事件)」「黒田騒動」に代表される

お家騒動、「難波戦記(大坂冬の陣・夏の陣)」「島原・天草一揆」のような戦争、「由井正雪の乱(慶安事件)」といった騒乱などなど。豊臣秀吉や石川五右衛門、柳沢吉保など、人物の一代記的なものもある(なにがしかの事件が加わるわけだが)。それぞれの事件や人物は今なおもって興味を引きつけられるものばかりだし、時代劇や時代小説、講談でもおなじみの題材であろう。「水戸黄門」も「赤穂浪士」も、源流をたどると実録に行き着くのである。そこには江戸時代の事件や人物に対する、我々が漠然と抱いているイメージが詰まっている。そのような「イメージの源流」とでもいうものに出会うのが、実録の面白さのひとつである。ここまで読まれて実録に関心をもたれた方は、ぜひ一度実録を読んでいただきたい—実物の写本に触れてもらうのが一番だが、手取り早くいろいろな実録を読みたいのであれば『近世実録全書』全20巻(早稲田大学出版部・1917年刊行開始)がある。ささやかな宣伝をさせていただくと、拙著『近世実録の研究—成長と展開—』(汲古書院・2008年)には、大岡政談の一種『大岡秘事』と石川五右衛門の一代記『賊禁秘談』が



『賊禁秘誠談』

翻刻されているのでこちらも手にとっていただければ幸いである。

祭りのよい方ならお気づきだろうが、この実録、内容は現代の我々から見ると、明らかな間違い（というよりはでたらめ）が多い。たとえば八代將軍徳川吉宗のご落胤を騙った「天一坊一件」。実録の代表的一群ともいえる大岡政談のひとつとして知られているが、事件を裁いたのは、実は大岡越前守忠相でないことは、有名な話である。そればかりか、大岡政談と呼ばれているものについては、その大半が作られたもの（別人が裁いただけでなく、中国の裁判小説を取り入れたものまでである）であること、先学によって指摘されて久しい。実録は書名に『一実録』『一実記』などと付けられているものも多いが、これでは看板に偽りありとの評価を下されても、文句は言えまい。

だが単純に偽りと否定的にとらえることには、ためらいがある。現在の我々にとってそうであっても、当時の人々にとっては、実録は事件の真相を伝える情報のひとつとして認識されていたからである。

近き頃、太閤真蹟記といふ写本

あり。甚だ大部にて数百巻に及べり。太閤時代の軍物語を委細に記して、俗事を悦しむる書なり。世上に実録なりともてはやす（中略）浄瑠璃本は、婦女子迄も初よりそらごとなる事をよく知り居て害なけれども、それに違ひ、是等は皆実録体にて作りたるものなれば、俗人婦女は真実の事と思ひ、（中略）人々迷ひを生じ、よき人をもあしく書伝へ、悪しき人をもよく云伝へんこと無念の事にて、作者は大なる罪なるべし。されば憎むべく歎くべき事なり（宮川春暉『北窓瑣談』〈吉川弘文館『日本随筆大成 第二期』十五卷所収〉）。

豊臣秀吉の実録『太閤真蹟記』の内容について、当時の「俗人（さほど学識のない民衆層のひとつをさすのだろう）婦女」は真実のことと置いていたというのである。春暉のように実録に批判的な人がいたとしても、おそらく、とくに民間においては、実録に対して「当時、あるいは少し前に起きた大事件の様子について、面白く知ることのできる本」という感覚で接していたものと想像できる。内容に信頼をおく者もいるだろうし、「まあ、そんなこともあるだろう」といった程度の認識もあったかもしれない。今でも伝説とか噂話といったものはあるが、実録もそれに似ている。だが、本として書きとどめられ、それも年月や人名、人物の社会的地位、場所などが具体的に記されることで記録としての真実味が増したろうし、それとともに写

本であることによって「公にできない真相が書かれているのではないか」という受け止める側の期待感も生じたであろう。それらが相まって、普通の伝説や噂話以上の現実味を發揮したものと思う。

伝説や噂話が物語に尾ひれが付いて大きくなっていくように、実録にも同様の現象がみられる。「成長」と呼び、実録の特質である。さまざまな蓋然性のある情報が付加され、話が膨らんでいくのである。この蓋然性のある情報というのがくせ者で、実録として原始的なものについては、比較的実説に寄り添う形で当時の聞き書きや風聞などが加わるのだが、あとになると話が飛躍し、娯楽的な虚構を構築するのである。我々が江戸時代の事件についてもっている、事件の実像とかけ離れたイメージや知識は、この段階で形成されたものが多い。さらには形成された虚構を踏まえつつ、脇筋を取り入れたり、荒唐無稽としか呼べないような挿話を加えたり、美文的な行文を備えたりすることで、小説性を高めるものもある。

こうなると、蓋然性のある情報というもののもいささか怪しいものであるが、それは現在の視点で内容を見ているからであり、当時の享受者たちにとっては、それはそれで受け容れられるものだったのだろう。実録が盛んに作られるようになるのは十八世紀に入ってからと考えられるが、この時期はまた講釈・講談（明治以降は「講談」の語を多用）が発達した時期でもある。実録と講釈の関係

は、まさに表裏一体というのがふさわしい。実録に基づいて講釈を行なったり、講釈師が実録を作ることもあった。聴衆の反応によって講釈の筋が左右されることもあったと推測される。講釈師が読む（講釈の場合は「読む」という）事件の展開や人物像については、聴衆の期待を裏切らないような配慮が必要であり、それがまた実録に投影されることもあっただろうし、実録を作る側が享受者に受け容れられるような話を作ることもあったろう。実録にみえる飛躍的な成長は、享受者の多くにとっては納得のいく話だったと考えられる。したがって、中には現代の我々が抱く事件や人物のイメージとは異なつたとらえ方がされているものもある。たとえば宮本武蔵。有名な佐々木巖流との決闘が、当時は武蔵による父の敵討ちと認識されていたことは、あまり知られていない。写本の実録として書かれたことで、「宮本武蔵の敵討ち」の事実性が生じ、当時の人々はそれでよしとしたのである。このように現在の認識とのズレを読み取るのも、実録の楽しさと言えまいか。これとは反対に、享受者の納得のいかない実録・講釈は、すぐに飽きられるかそっぽを向かれるかで、内容の改変を迫られるに違いない。

事件や人物についての実像を、信頼のおける資料に基づいて解明し、客観的に評価することは、当然なされなければならない。だが、実録に書かれていた内容を「偽り」「通俗的」（過去にはこのように評価されてし

まったことも多い)と切り捨ててしまったり、身も蓋もない。当時の民衆層においては、自分たちの願望も含めて事件をそのように解釈したのである。したがって実録は、事件の真相を解明する資料として用いるには問題があるけれども、民間における事件の享受・解釈を考える資料としての役割は大きいと思うし、個別の事例を総合することで、日本人の本質的な物事のとらえ方、好み、性格なども浮き上がってくるだろう。

実録が、当時の歌舞伎や人形浄瑠璃といった演劇、あるいは小説類の主要素材として用いられていることについても、ひとこと触れておきたい。たとえば、いまも上演されている歌舞伎「金(きん) 楼(ろう) 門五三桐」は、盗賊石川五右衛門を扱った作品であり、演劇で初めて豊臣秀吉と対決させた画期的なものなのだが、五右衛門と秀吉の対決はすでに実録『賊禁秘談』に、その原始的な形が存在する。これは、実録が近世文芸の底流にあるものとして、非常に重要な役割を果たしていることを物語っている。我々が知っている他の伝統芸能や近世小説も、背後に実録が控えているかもしれないのである。

ここまで実録について思いつくままことばを連ねてきたが、結局言いたいことは、近世について考えるときに、実録は見過ごすことができないものであり、また魅力的なものでもある、ということである。ただ、実録研究はなかなか作業労力のかかる分野である(これはやり方にもよるだろうが)ことも申し添えておかねばなるまい。実録と呼ばれるもの

が、いったいどれくらいあるのか、全貌がつかめないのである。加えて、それぞれの事件を扱ったものが何という書名で広まっていたのかが、わかりにくい。『殺報転輪記』といってもそれが「伊賀越え敵討ち」の実録をさすとは、ふつつ想像できないだろう。また、同じ書名の異本もあるし、逆に同内容でありながら、さまざまな書名で流布することもよくある。こうなるとますますややこしくなってくる。実録の中でもよく読まれたものについては、事件名と書名を掲げたりリストを作成したことがあるが(前出『近世実録の研究』所収「主要実録書名一覧稿」)、それに載せきれなかった事件や書名はまだまだ存在する。だがある程度の経験を積めば、書名から内容を推測することが可能になるし、さらには未見で全く内容が予想できない書名に出会った時に、わくわくすることもあるだろう。筆者は現在、敵討ちを題材にした実録に注目しているのだが、これまたどれくらい種類があるのか、見当がつかない。中には、明らかに事件から創作したと認められるものもある。これはこれで実録の本質について考えさせてくれるおもしろい材料といえる。ともあれ、今は一種類でも多くの敵討ち物の実録と出会うのが楽しみな毎日である。

研究人口もさほど多くなく、まだまだ未開拓・未発掘のものも多い実録。この一文が実録の魅力を少しでも伝え、さらには実録に興味を示す人が一人でも増えてくれることを願っている。

(→P. 14へつづく)

新刊ニュース

11・12月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典/年表・地図/歴史学・補助学

在日コリアン辞典

国際高麗学会日本支部『在日コリアン辞典』編集委員会編
四六判 456頁 3,990円 明石書店[11月刊]

アリラン、パチンコ、法的地位、民族教育、人物、事件など、様々な分野から選び出された850項目と100人をこえる執筆陣によるはじめての辞典。 978-4-7503-3300-7

日本の世界文化遺産を歩く

藤本 強著
四六判 200頁 1,890円 同成社[12月刊]

世界遺産の成立や決定の要因を解説するとともに、日本の世界文化遺産の一つ一つを訪ね歩き、その歴史や現状を平易に語る。 978-4-88621-542-0

文化遺産と地域経済

澤村 明著
A 5判 152頁 2,100円 同成社[12月刊]

街並みや遺跡などの文化遺産が地域の経済にどのような影響をあたえているか、具体的な事例をもとに解説。 978-4-88621-543-7

文献史料・物質資料と古代史研究

古尾谷知浩著
A 5判 416頁 11,000円 塙書房[12月刊]

①出土文字資料②古代の手工業③近世・近代史料と古代史の3部構成一文獻史学と考古学の協業の可能性を探る。 978-4-8273-1239-3

戦後知の可能性—歴史・宗教・民衆

安丸良夫・喜安朗編
A 5判 448頁 予価3,000円 山川出版社[12月刊]

学知探求の道筋を模索していった先学たちの軌跡をたどり、戦後啓蒙から出発した知の変貌のさまを示して、知の可能性を再考する。 978-4-634-67223-9

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

事典 人と動物の考古学

西本豊弘・新美倫子編
四六判 308頁 3,360円 吉川弘文館[11月刊]

発掘された骨や遺物などから、原始より明治初頭に至る人と動物との多様な関わりを描く。日本人と動物の歴史を解説する読む事典。 978-4-642-08042-2

貝の考古学

ものが語る歴史22
忍澤成視著
A 5判 440頁 7,350円 同成社[12月刊]

装身具等の素材となった貝をとりあげ、その考古学的、生物学的な分析から、縄文時代の習俗や社会形態、交易ルートなどを考察。 978-4-88621-537-6

陵墓関係論文集VI

書陵部紀要所収
宮内庁書陵部陵墓課編
A 4判 280頁 9,660円 学生社[12月刊]

聖徳太子磯長墓内の中段境界石、宇和奈辺陵墓参考地の壇輪、蓮華峯寺陵の墳丘外形など、平成14~16年までの書陵部紀要に収録された論文を収録。 978-4-311-30080-6

陵墓関係論文集Ⅶ

書陵部紀要所収
宮内庁書陵部陵墓課編
A 4判 288頁 9,660円

学生社(12月刊)

黄金塚陵墓参考地の石室、来目皇子植生崗上墓の遺構と墳丘、継体天皇三嶋藍野陵出土地輪等、平成17～19年までの書陵部紀要に収録された論文を収録。 978—4—311—30081—3

高句麗壁画古墳と東アジア

門田誠一著

A 5判 460頁 9,030円

思文閣出版(12月刊)

墓誌銘文や凶像の傍題などの文字資料を対象に出典論的研究を主体とし、比較すべき同時期の東アジアの壁画資料を相關的に検討

978—4—7842—1546—1

インダスの考古学

世界の考古学18

近藤英夫著

四六判 200頁 2,100円

同成社(12月刊)

南アジア最古の都市文明であるインダス文明について、主に発掘調査などの考古学資料を基に分析し、当時の国際関係の中で考察する。

978—4—88621—541—3

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

恋する日本史 やまとなでしこ物語

山名美和子著

四六判 224頁 1,260円

新人物往来社(9月刊)

強い女性、弱い女性、いろいろタイプはあれど、英雄を愛し、そして愛された女性はどんな性格でどんな行動をとったのか? 鎌倉～幕末まで、時代を動かした男たちの陰に必ずいた女性たちの生き方を描く! 978—4—404—03902—6

ものづくりとくらしの日本史

新人物往来社編

A 5判 144頁 1,890円

新人物往来社(10月刊)

日本の生活文化史・産業技術史を、分野ごとにそれぞれ通史的に解説するとともに、生活・技術を具体的にあらわす復元模型や絵画を多数掲載し、わかりやすく紹介。日本人の技術と暮らしが目で見えわかる「紙上博物館」! 978—4—404—03911—8

日本古代氏族人名辞典 普及版

坂本太郎・平野邦雄監修

菊形 760頁 5,040円

吉川弘文館(11月刊)

大化前代から律令時代までに登場した氏族・人物から重要な2800項目を収録。全項目に訓みを付け、平易に解説した待望の新装復刊。

978—4—642—01458—8

通交・通商圏の拡大

日本の対外関係 3

荒野泰典・石井正敏・村井章介編

A 5判 360頁 6,300円

吉川弘文館(12月刊)

10～12世紀、正式な国交が開かれなまま、宋や高麗・契丹などとの交流が、僧侶や商人により活発に行われた日本の諸相を描く。

978—4—642—01703—9

時代考証学ことはじめ

大石学・時代考証学会編

A 5判 256頁 2,520円

東京堂出版(11月刊)

大河ドラマや歴史小説の時代考証の世界は歴史学と市民とが出会う興味津々の話題に満ちている。研究者・ドラマ制作者・役者らが集ったシンポの記録。 978—4—490—20717—0

家康公伝 1 関ヶ原の勝利

現代語訳 徳川美紀

大石学・佐藤宏之・小宮山敏和・野口朋隆編

四六判 256頁 2,310円

吉川弘文館(11月刊)

初代将軍家康から始まる江戸幕府の大編年史を、初めて現代語訳化! 人質から将軍へ。「鳴くまで」堪え忍んだ家康の成功譚。

978—4—642—01811—1

藤氏家伝を読む

篠川 賢・増尾伸一郎編

A 5判 288頁 9,975円

吉川弘文館(12月刊)

正史にはない独自の内容を含む貴重な伝記史料を、様々な視点で追究。11人の研究者が集い、『家伝』の全容を読み解く論考を収録。

978—4—642—02477—8

飛鳥から藤原京へ

古代の都1

木下正史・佐藤 信編

四六判 284頁 2,940円

吉川弘文館〔12月刊〕

対外交流による文明開化と社会が大きく変貌していく姿を、宮都や寺院跡、出土遺物・木簡や文献史料、仏像や古墳壁画などから迫る。

978—4—642—06291—6

平城京100の疑問

奈良県立橿原考古学研究所編

新書判 248頁 1,050円

学生社〔11月刊〕

平城京を選んだ理由、平城京建設中の疑問から、住人たちの衣食住などの生活、役人たちの仕事、平城京の悩みなどを、専門の考古学者がわかり易く説明。 978—4—311—20333—6

仁明朝史の研究

承和転換期とその周辺

角田文衛監修（財）古代学協会編

A 5判 350頁 7,350円

思文閣出版〔12月刊〕

仁明朝史研究会の研究成果を元に、仁明朝期の画期性を様々な分野・視点から解き明かす論文集。

978—4—7842—1547—8

鎌倉期官人陰陽師の研究

赤澤春彦著

A 5判 430頁 12,600円

吉川弘文館〔12月刊〕

朝廷陰陽道が近世に形骸化したのはなぜなのか。朝廷陰陽道、博士家の展開、関東陰陽道を再検討し、鎌倉期陰陽道を包括的に捉え直す。 978—4—642—02893—6

足利義満 一法皇への夢を追った華麗な生涯—

日本史リブレット人39

伊藤喜良著

A 5変型判 96頁 840円

山川出版社〔11月刊〕

義満が「武人」を脱却して「文人」としての権力者となり、「武官」・「文官」を従えていく経緯を、皇位や王権をめぐる問題を中心にすえて考える。 978—4—634—54839—9

近世の環境と開発

根岸茂夫・大友一雄・佐藤孝之・末岡照啓編

A 5判 370頁 7,875円

思文閣出版〔12月刊〕

環境問題が注目を集めている中、江戸時代の社会に視点を移し、村落・河川・山野・鉱山を題材に、環境と開発の問題について改めて問い直す論文集。 978—4—7842—1544—7

江戸で暮らす。

丹野 顯著

四六判 256頁 1,890円

新人物往来社〔9月刊〕

「読んで楽しく見て面白い」をモットーに、「質屋はなぜ繁盛した?」「富くじの当たり金額は?」など江戸時代の武士や町人、農民たちの日常生活を豊富な絵画と平易な文章でわかりやすく紹介します。 978—4—404—03913—2

江戸大名のお引っ越し

白峰 旬著

四六判 192頁 1,470円

新人物往来社〔10月刊〕

江戸時代を通じて大名が改易や転封で城地を去ることになった時、どのようにして城郭は譲渡され、また受領されたのか。城の拝受ルーティンを史料を元に通時的に把握し、事例をあげて明らかにする意欲作。 978—4—404—03925—5

徳川光圀 —「黄門さま」で名高い水戸藩主—

日本史リブレット人48

鈴木暎一著

A 5変型判 100頁 840円

山川出版社〔11月刊〕

虚像としての「黄門様」がなぜ伝えられたのかを含め、史実としての人物像を明らかにする。

978—4—634—54848—0

田沼意次 —「商業革命」と江戸城政治家—

日本史リブレット人52

深谷克己著

A 5変型判 104頁 840円

山川出版社〔11月刊〕

最晩年に残したわずかな史料に光をあてて人物像をとらえなおすとともに、田沼時代の多様な経済政策を解説する。

978—4—634—54852—7

寛政期水戸学の研究

翠軒から幽谷へ

吉田俊純著

A 5判 330頁 11,550円

吉川弘文館〔12月刊〕

水戸学が、尊王攘夷論の思想に大きく梶を切る起点で何が起きたのか。立原翠軒と弟子の藤田幽谷の交流と別れから、思想の背景を解明。 978—4—642—03444—9

幕末の海防戦略

異国船を隔離せよ 歴史文化ライブラリー312
上白石 実著
四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔12月刊〕

なぜ幕府は突然のペリー来航に周到な準備で対応できたのか。幕府の異国船への対応と、海禁に奔走する姿から、海防政策の本質に迫る。
978-4-642-05712-7

身分論をひろげる

〈江戸〉の人と身分6
大橋幸泰・深谷克己編
四六判 250頁 3,150円 吉川弘文館〔12月刊〕

〈身分論〉は新たな地平をめざす。キリシタン、近世的「悪党」、朝鮮・中国・琉球の身分。人の視点で身分を問い直すシリーズ完結巻！
978-4-642-06571-9

福沢諭吉 朝鮮・中国・台湾論集

杉田 聡編
四六判 400頁 3,990円 明石書店〔10月刊〕

帝国主義西欧列強の世界観を模倣し、朝鮮・中国を日本の国権拡張の対象とするアジア観を持つ福沢。時事新報の論説からその思想を示す論考を集めた。 978-4-7503-3289-5

アメリカン・ボード200年

本井康博著
B 5 判 678頁 5,250円 思文閣出版〔11月刊〕

アメリカ最古のプロテスタント外国伝導組織、アメリカン・ボードについて、京都と北越を対象とし、その活動を検証する。
978-4-7842-1543-0

近代日本の政治構想とオランダ

大久保健晴著
A 5 判 428頁 7,560円 東京大学出版会〔11月刊〕

「開国」に直面しヨーロッパ文明と対峙するなか、西周、津田真道、福沢諭吉ら、幕末から明治憲法成立期に活躍した知識人の思想的格闘を描き、近代日本の国家構想を浮き彫りにする。
978-4-13-036238-2

近代日本と「高等遊民」

社会問題化する知識青年層
町田祐一著
A 5 判 368頁 11,550円 吉川弘文館〔12月刊〕

高学歴だが一定の職にない「高等遊民」の実像と政治社会への影響、解決策を解明。現代のフリーター問題にも通ずる社会矛盾を考える。
978-4-642-03799-0

首都東京の近代化と市民社会

中嶋久人著
A 5 判 320頁 9,975円 吉川弘文館〔12月刊〕

行政により管理される都市と自由な市民社会との間の矛盾を解決する「公共圏」に注目。都市が安定的な社会運営を確立する過程を解明。
978-4-642-03797-6

明治国家と地域教育

府県管理中学校の研究
荒井明夫著
A 5 判 448頁 16,800円 吉川弘文館〔12月刊〕

全国のいくつかの府県管理中学校から、国家と地域との関係性のダイナミズムを解明。現代の「地域教育」のあり方に問題提起をする。
978-4-642-03798-3

福井県の歴史散歩

歴史散歩18
福井県の歴史散歩編集委員会編
B 6 変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔12月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おもな祭りや年表など付録も充実。
4-634-24618-8

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

総図解 よくわかる世界の紛争・内乱

関 真興著

四六判 320頁 1,470円 新人物往来社〔9月刊〕

総図解シリーズ。第二次世界大戦後に起きた紛争・革命・テロを地域別に徹底解説。朝鮮半島、中国、イスラエル、ロシアなど、現代社会を描るがす混乱の背景には何があるのか？ これ一冊で国際情勢がよくわかる！ 978-4-404-03910-1

韓国人は「日本人」をどう思っているのだろうか

朴 相鉉著

四六判 176頁 1,470円 新人物往来社〔10月刊〕

韓国人はどのような「日本人観」を持っているのかを詳細に分析し、そのひとつひとつについて「なぜそうなったのか」という背景を検証することで、今後の日韓関係に必要なことは何かを示す。批判ではなく、これからの世代に送る未来志向の日韓関係論。 978-4-404-03924-8

近世の海域世界と地方統治（東アジア海域叢書1）

山本英史編

A 5判 448頁 7,350円 汲古書院〔11月刊〕

「東アジア世界の交流」を大きなテーマに歴史・思想・宗教・文学・美術・建築・人類学など様々な視点から、分析した一大叢書。全20巻。一巻のテーマは「政治制度」。 978-4-47629-2941-0

イギリスの古城 新装版

世界の城郭

太田静六著

B 5判 280頁 3,150円 吉川弘文館〔12月刊〕

イギリス全土の古城の魅力を、豊富な写真と城の配置図、建築解説でわかりやすく紹介。ウェールズや北アイルランドの古城案内は圧巻。 978-4-642-06422-4

ヨーロッパの古城 新装版

城郭の発達とフランスの城 世界の城郭

太田静六著

B 5判 328頁 3,150円 吉川弘文館〔12月刊〕

著者が撮影した写真と多くの資料で、古代エジプト、オリエント諸国、ギリシア、ローマ帝国、フランスの古城のもつ魅力を残らず紹介。 978-4-642-06423-1

中国五代国家論

佛敎大学研究叢書

山崎覚士著

A 5判 368頁 6,825円 思文閣出版〔11月刊〕

従来の「国家」構造研究に対し、中国の五代十国という分裂時代を対象とし、無秩序・不条理の国家状態とみなすのではなく、そこに働く構造を見通す。 978-4-7842-1545-4

インド・から

水島 司著

A 5判 232頁 2,940円 山川出版社〔11月刊〕

南インドをフィールドとしてきた経済史家だが、東南アジア諸国との比較を交えながら、インドの村や町の歴史的な変化をとらえたエッセイ集。 978-4-634-64053-5

中世イスラーム国家の財政と寄進

後期マムルーク朝の研究

五十嵐大介著

A 5判 350頁 7,350円 刀水書房〔12月刊〕

マムルーク朝史の全体像を再構築し、「ポスト・イクター制時代」の国家と社会を理解する基本的な枠組みを提示、同朝研究の進展に大きく寄与する新研究。 978-4-88708-393-6

チングス・カンの法

山川歴史モノグラフ21

朝克図著

A 5判 194頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

モンゴル帝国期のモンゴル語史料における「ジャサ」の用例を分析し、チングス・カンが定めたモンゴル帝国の法の実態を明らかにする。 978-4-634-67381-6

礼拝の自由とナポレオン—公認宗教体制の成立

山川歴史モノグラフ22

松嶋明男著

A 5判 248頁 5,250円 山川出版社〔11月刊〕

ナポレオン体制下で確立した「礼拝の自由」をめぐる諸問題を史料を駆使して多角的に検討する。 978-4-634-67382-3

文化史

文化史一般/政治・外交・経済/思想・宗教
教育・科学/文学・美術・芸術/社会生活

写真で見るみんなの好きな京都 今昔物語

結城しは著

A 5判 224頁 1,890円 新人物往来社(10月刊)

京都に数多くある歴史上のスポットや幕末維新の事件現場を、古写真や名所図会とともに現在の姿も入れて解説。既存のガイドブックとはひと味違う、歴史に重点を置き新たな視点でまとめた一冊。 978-4-404-03881-4

ニッポンの河童の正体

飯倉義之著

四六判 192頁 1,470円 新人物往来社(10月刊)

妖怪の中でも不滅の人気を保ち、キャラクター化しつつある河童を多角的に見直し再度発掘。文明の中で絶滅の危機にある河童の歴史と生態をさぐる、河童の最新研究本！ 978-4-404-03923-1

小シーボルトと日本の考古・民族学の黎明

ヨーゼフ・クライナー編

A 5判 320頁 7,350円 同成社(12月刊)

シーボルトの息子ヘンリーは明治初期の日本で民族・考古学の成立に寄与。その事績を繙き、西欧との関わりの中で学問の発展を捉え直す。 978-4-88621-546-8

サベッジ・システム

植民地主義と比較宗教

デイヴィット・チデスター著 西村明ほか訳

A 5判 424頁 7,350円 青木書店(11月刊)

南部アフリカにおけるフロンティアの比較宗教の歴史をとりあげ、植民地化された南部アフリカの宗教を研究！ 978-4-4-250-21009-9

友愛と秘密のヨーロッパ社会文化史

古代秘儀宗教からフリーメイソン団まで

深沢克己・桜井万里子編

A 5判 354頁 7,350円 東京大学出版会(11月刊)

ヨーロッパ史上に出現する多様な団体・結社に通底する宗教的・秘儀的原理に着目。近代市民社会形成のひとつの原動力となったこれら団体・結社を、社会文化史から捉えなおす。 978-4-13-026138-8

浄土教理史

真宗学シリーズ 3

信楽峻磨著

四六判 200頁 2,100円 法蔵館(11月刊)

浄土経典から、インドの龍樹菩薩・天親菩薩、中国の曇鸞大師・道綽禪師・善導大師、日本の源信・法然、そして法然門下から親鸞に至る浄土教の歴史を行道の視点を中心に解明。 978-4-8318-3273-3

改訂増補 備中吉備津神社文書 中世篇

藤井学・山崎浩之編

A 5判 224頁 12,600円 法蔵館(12月刊)

岡山の備中一宮吉備津神社に伝わる中世文書を集めた史料集。全面的に改訂を施し、初公開史料「備中国板倉村檢地帳」を新たに収録するなど、改訂増補として復刊、書下ろし改題付。 978-4-8318-7578-5

神と仏と日本人

宗教学人類学の構想 歴史文化セレクション

佐々木宏幹著

四六判 288頁 1,995円 吉川弘文館(11月刊)

世界の他地域との比較の視座から、神仏に手を合わせる柔軟な日本宗教の底流を探る。現代において、宗教の果たすべき役割を考える。 978-4-642-06368-5

中世律宗と死の文化

松尾剛次著

A 5判 290頁 12,600円 吉川弘文館(11月刊)

博多・伊勢など教団の全国的展開、港湾・都市的な場との関係に注目。石工集団を組織して五輪塔など死の文化を創造した律宗の実態。 978-4-642-02892-9

飛鳥・白鳳仏教史

歴史文化セレクション

田村圓澄著

四六判 612頁 4,935円 吉川弘文館(12月刊)

有力貴族が私的に伽藍を築いた飛鳥時代。神仏習合が進展した白鳳時代。政治に組み込まれ「国家仏教」へと変化していく過程を追及。 978-4-642-06369-2

東アジアの兵器革命

十六世紀中国に渡った日本の鉄砲

久芳 崇著

A 5判 224頁 3,990円

吉川弘文館〔11月刊〕

日本式鉄砲が広がる経過、軍事力を背景にした明の新秩序確立過程等を解明。火器技術の刷新と兵器革命の実態から「軍拡」時代を描く。 978-4-642-08149-8

太平記世界の形象

北村昌幸著

A 5判 384頁 8,500円

塙書房〔11月刊〕

『今昔物語集』『宝物集』等の説話文学や『史記』『白氏文集』等の中国文学との関連を考察、多角的視点から『太平記』の特徴を論じ、南北朝内乱史の叙述を取り上げる。 978-4-8273-0116-8

話し言葉の日本史

歴史文化ライブラリー-311

野村剛史著

四六判 240頁 1,785円

吉川弘文館〔12月刊〕

昔の日本人はどのように話していたのか。資料から話し言葉を再現。古代から近代まで言葉が変化する様子を解明し、その歴史を考える。 978-4-642-05711-0

奈良甲冑師の研究

宮崎隆旨著

B 5判 640頁 31,500円

吉川弘文館〔12月刊〕

甲冑師の実態と生産体制、幕府・大名との関わりを徹底解明し、短甲と挂甲に新たな問題を提起。多数の図版で甲冑を史的に捉えた大著。 978-4-642-07912-9

祇園祭

祝祭の京都 歴史文化ライブラリー-309

川嶋將生著

四六判 220頁 1,785円

吉川弘文館〔11月刊〕

江戸時代を中心に、山鉦の巡幸ルート、宵山の盛大化などの変遷を辿る。現代まで続いてきた源流を探り、祭りとの町の歴史の真実に迫る。 978-4-642-05709-7

伝記

山上憶良

人物叢書266

稲岡耕二著

四六判 352頁 2,310円

吉川弘文館〔11月刊〕

奈良時代の歌人。大宰帥大伴旅人との交流から生まれた作品群を読み解き、人間の情や生老病死と向き合う独自の作風と貴き生涯を追う。 978-4-642-05259-7

織田信長

戦国の世を駆けぬけた武将

監修・小和田哲男 文・西本鶏介 絵・広瀬克也

A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房〔11月刊〕

歴史上の人物を、伝記物語と資料で紹介するシリーズ。歴史や文化への理解力を養う調べ学習にも最適。 978-4-623-05881-5

豊臣秀吉

天下を統一への道

監修・小和田哲男 文・西本鶏介 絵・青山邦彦

A B判 32頁 2,626円 ミネルヴァ書房〔11月刊〕

歴史上の人物を、伝記物語と資料で紹介するシリーズ。歴史や文化への理解力を養う調べ学習にも最適。 978-4-623-05882-2

杉田玄白

『解体新書』と新しい医学

監修・大石学 文・西本鶏介 絵・青山邦彦

A B判 32頁 2,626円 ミネルヴァ書房〔12月刊〕

歴史上の人物を、伝記物語と資料で紹介するシリーズ。歴史や文化への理解力を養う調べ学習にも最適。 978-4-623-05884-6

徳川家康

江戸幕府をひらいた将軍

監修・大石学 文・西本鶏介 絵・宮嶋友美

A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房〔12月刊〕

歴史上の人物を、伝記物語と資料で紹介するシリーズ。歴史や文化への理解力を養う調べ学習にも最適。 978-4-623-05883-9

定本 徳川家康

本多隆成著

四六判 320頁 2,940円 吉川弘文館(11月刊)

三河の統一から武田氏との攻防、家臣岡と諸大名の動向、政治戦略を詳細・平易に叙述。相次ぐ新説も丁寧に検証した、家康論の決定版。 978-4-642-08047-7

昭憲皇太后・貞明皇后

一筋に誠をもちて仕へなば

小田部雄次著

四六判 394頁 3,150円 ミネルヴァ書房(11月刊)

「国母」という精神的負担に耐えながらも氣丈に振る舞い、夫と共に歩んだ人生はいかなるものだったのか。近代の皇后像を形作った素顔に迫る。 978-4-623-05908-9

歴史の法則から市井の人々へ

角山 榮著

四六判 280頁 2,940円 ミネルヴァ書房(11月刊)

「生活史」に着目したイギリス経済史の大家による自伝。市井の人々の生活に着目して歴史を再構成してきた日々を振り返る。 978-4-623-05868-6

三島由紀夫

豊饒の海へ注ぐ

島内景二著

四六判 390頁 2,940円 ミネルヴァ書房(12月刊)

多彩な活躍で知られた不世出の作家の生涯に、「和歌の申し子」という視点から迫る。 978-4-623-05912-6

吉兆 湯木貞一

料理の道 歴史文化ライブラリー-310

末廣幸代著

四六判 224頁 1,785円 吉川弘文館(11月刊)

文化人との交流や、茶の湯や美術品への造詣、美術館開設などのエピソードから、ひたすらに料理に打ち込んだ生き方と人となりになる。 978-4-642-05710-3

雑 誌

史林 第93巻 第6号

史学研究会(京都大学大学院文学研究科内)発行
A 5判 112頁 1,200円 東京堂出版(11月刊)

1916年、史学研究会の機関誌として創刊され、歴史学・地理学・考古学の総合学術誌として数々の論考を送り出してきた『史林』が待望の市販化! 年6冊。 978-4-490-30667-5

東大寺二月堂

ザ・グレートブッド・シンポジウム論集第八号

GBS 実行委員会編

A 4判 152頁 2,100円 法蔵館(12月刊)

お水取り、お松明として有名な修二会が行われる東大寺二月堂をテーマに、思想史、美術史・建築史、歴史学、考古学の各分野から、多角的に論じたシンポジウムの論文集。

日本歴史

12月号(第751) = 11月刊
1月号(第752) = 12月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円[送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円[送料込]

三年間前払い23,500円[送料込]

A 5判 12月号=146頁 1月号=178頁

12月号=780円 1月号=1,000円

吉川弘文館(11・12月刊)

学生・院生 一年間5,000円[送料込]

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2010.11・12

――明石書店――

アフガニスタンを想う 往還半世紀 前田耕作者	……四六判	2,940円	10月
中国近代美術史論 陸 偉榮著	……A 5判	3,570円	11月
世界の先住民環境問題事典 ジョハンセン著 平松紘監訳	……A 5判	9,975円	11月
現代カナダを知るための57章 飯野正子、竹中豊編著	……四六判	2,100円	11月
精神鑑定とは何か 責任能力論を超えて 高岡 健著	……四六判	1,890円	11月

――思文閣出版――

奈良 千三百年ものがたり すずきたみこ著	……四六判	1,680円	11月
----------------------	-------	--------	-----

――東京大学出版会――

職場学習論 仕事の学びを科学する 中原 淳著	……A 5判	2,940円	11月
破壊と構築 ハイデガー哲学の二つの位相 門脇俊介著	……A 5判	3,675円	11月
現代市民の国家観 欧並18ヵ国調査による実証分析 猪口孝・ジャン・ブロンデル著 (猪口孝訳)	……A 5判	6,510円	12月
イタリア学習社会の歴史像 社会連帯にねざす生涯学習の協働 佐藤一子著	……A 5判	8,820円	12月
姉といハビトゥス 女兒死亡の人口人類学的民族誌 小谷真吾著	……A 5判	6,825円	12月

――法 藏 館――

いきているってふしぎだね よしいけ道著	……B 5変型判	735円	11月
---------------------	----------	------	-----

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

(P. 5よりつづく)

(表紙写真) 「大岡政談」の一種『大岡政要実録』(天保12年<1841>写・筆者蔵)

(P. 17よりつづく)

〈第8回徳川賞〉

『近世の在村文化と書物出版』 杉 仁著 ……A 5判 13,650円 吉川弘文館
日本近世に関するすぐれた研究書に贈られる。財団法人徳川記念財団主催。

* 会員社刊行の2010年受賞図書 *

〈第三回日本生活文化史学会賞〉

『十九世紀日本の園芸文化 江戸と東京、檜木屋の周辺』 平野 恵著
 A 5判 6,825円 思文閣出版
 日本生活文化史学会主催。日本生活文化史に関わる研究テーマに与えられる賞。
 19世紀における園芸文化史を江戸・東京を中心に叙述。「園芸文化」という新しい
 領域を開拓する意欲作。

〈第32回サントリー学芸賞（思想・歴史部門）〉

『記号と再帰 記号論の形式・プログラムの必然』 田中久美子著
 A 5判 3,780円 東京大学出版会
 広く社会と文化を考える独創的で優れた研究・評論活動を、著作を通じて行った
 個人に対して贈られる賞。

〈第19回大川出版賞〉

『記号と再帰 記号論の形式・プログラムの必然』 田中久美子著
 A 5判 3,780円 東京大学出版会
 情報・通信分野における優れた研究に贈られる賞。

〈第44回造本装幀コンクール 東京都知事賞／日本書籍出版協会理事賞〉

『西洋美術書誌考』 西野嘉章著 A 5判 9,240円 東京大学出版会
 造本技術・装幀デザインが優秀で美しい本に贈られる賞。

〈第22回和辻哲郎文化賞〉

『秋田蘭画の近代 小田野直武「不忍池園」を読む』 今橋理子著
 A 5判 6,825円 東京大学出版会
 和辻哲郎が専門とした哲学、倫理学、宗教、思想、比較文化といった領域での学
 術的水準を備えた、すぐれた論文に贈られる賞。

〈第4回ファーラービー国際賞〉

『イスラーム世界の創造』 羽田正著 四六判 3,150円 東京大学出版会
 イラン政府主催で、イラン国内の人文学研究と、外国人によるイラン、イスラ
 ム研究に贈られる賞。

〈第7回生協総研賞特別賞〉

『女性の就業と家族のゆくえ 格差社会のなかの変容』 岩間暁子著
 A 5判 3,990円 東京大学出版会
 くらしの実態と変化などに関するすぐれた研究に贈られる賞。

〈第14回国際開発研究 大来賞〉

『カーストと平等性 インド社会の歴史人類学』 田辺明生著
..... A 5判 12,600円 東京大学出版会
国際開発の分野における研究を奨励するため、国際開発の様々な課題に関する優れた指針を示す研究図書に贈られる賞。

〈第3回地域社会学会賞〉

『モビリティと場所 21世紀都市空間の転回』 吉原直樹著
..... A 5判 5,670円 東京大学出版会
地域社会学をはじめ広く地域社会研究において優れた成果をあげた会員に贈られる賞。

〈第43回安達峰一郎記念賞〉

『伝統的中立制度の法的性格 戦争に巻き込まれない権利とその条件』 和仁健太郎著
..... A 5判 7,560円 東京大学出版会
国際法学の優れた研究著作に贈られる賞。

〈第5回榎山純三賞〉

『中国の経済発展と資源配分 1860—2004』 袁堂軍著
..... A 5判 7,350円 東京大学出版会
現代アジア研究における独創的で優れた業績に贈られる賞。

〈第26回大平正芳記念賞〉

『アジア地域主義とアメリカ ベトナム戦争期のアジア太平洋国際関係』 曹良鉉著
..... A 5判 7,770円 東京大学出版会
「環太平洋連帯構想」の発展に貢献する政治・経済・文化・科学技術に関する優れた著作に贈られる賞。

〈第15回アメリカ学会清水博賞〉

『ヴェトナム戦争と同盟外交 英仏の外交とアメリカの選択 1964—1968年』 森聡著
..... A 5判 7,140円 東京大学出版会
若手研究者が最初に発表した研究成果の中から特に優れた作品に贈られる賞。

〈第50回エコノミスト賞〉

『企業金融とコーポレート・ガバナンス 情報と制度からのアプローチ』 花崎正晴著
..... A 5判 5,040円 東京大学出版会
日本経済および世界経済について、その年度において最も清新な業績を打ち立てた作品に授与される賞。

〈第53回日経・経済図書文化賞〉

『金融危機の経済分析』 細野薫著 A 5判 5,040円 東京大学出版会
経済および経営・会計分野の学問、知識の向上に貢献するとともに、その一般普及・応用に寄与する図書に贈られる賞。

〈第10回人文地理学会学会賞（一般図書部門）〉

『局地鉄道』 三木理史著……………B 6判 2,310円 塙書房
人文地理学研究の優れた研究に贈られる賞。

〈浄土宗学術賞〉

『曇鸞浄土教形成論 ―その思想的背景―』 石川琢道著 ……A 5判 6,615円 法藏館
浄土宗学術賞とは、浄土宗の教学振興への多大なる貢献があったとして、優れた学術書の執筆者に対して贈られる賞です。

〈第44回仏教伝道功労賞〉

『日本仏教洋楽資料年表』 飛鳥寛栗編……………B 5判 5,040円 法藏館
仏教伝道功労賞とは、財団法人仏教伝道協会が1973年からはじめた仏教の普及・伝道に功績あった者に授与される賞です。

〈平成21年度 吉田茂賞〉

『政党内閣の崩壊と満州事変』 小林道彦著……………A 5判 6,825円 ミネルヴァ書房
「国際的教養の豊かな前途有為の学者」に授与する学術賞。

〈2009年度 国際安全保障学会 最優秀出版奨励賞（佐伯喜一賞）〉

『吉田茂と安全保障政策の形成』 楠 綾子著……………A 5判 5,775円 ミネルヴァ書房
国際安全保障学会会員が著した安全保障・防衛に関する学術研究書から選考される。

〈2009年度「日本公共政策学会学会賞作品賞」〉

『公共政策学とは何か』 足立幸男著……………A 5判 3,675円 ミネルヴァ書房
『公共政策研究』の分野で優れた著作、論文に対して授与する学会賞。

〈第12回「日本人口学会学会賞」〉

『日本の家族とライフコース』 平井晶子著……………A 5判 5,250円 ミネルヴァ書房
人口学分野における会員の優れた著書、論文、その他の業績に対して学会賞を授与しています。

〈第53回日経・経済図書文化賞〉

『雇用保障の経済分析』 野田知彦著……………A 5判 3,990円 ミネルヴァ書房

〈第64回毎日出版文化賞人文・社会部門〉

『精神医学から臨床哲学へ』 木村敏著……………四六判 2,940円 ミネルヴァ書房
出版文化向上のため、優れた出版物に贈られる賞。

〈第10回人文地理学会学会賞（学術図書部門）〉

『事典 日本古代の道と駅』 木下 良著……………菊判 8,400円 吉川弘文館
人文地理学会の発展に寄与する学術書に贈られる。人文地理学会主催。2010年9月重判出来。

(以下 P. 14へ)

歴史書懇話会特設店

- | | | |
|-----------|-------|--|
| ジュンク堂書店 | 仙台店 | 〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1
☎022-265-5656 |
| 岩瀬書店 | 富久山店 | 〒963-8051 郡山市富久山町八山田
字大森新田36-1
☎024-936-2220 |
| 煥乎堂 | 本店 | 〒371-0023 前橋市本町1-2-13
☎027-235-8111 |
| 須原屋 | 本店 | 〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20
☎048-822-5321 |
| 岩波ブックセンター | 信山社 | 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3
☎03-3263-6601 |
| 東京堂書店 | 本店 | 〒101-0051 千代田区神田神保町1-17
☎03-3291-5181 |
| 芳林堂書店 | 高田馬場店 | 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場
1-26-5 F Iビル
☎03-3208-0241 |
| ジュンク堂書店 | 池袋本店 | 〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5
☎03-5956-6111 |
| 有隣堂 | 本店 | 〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1
☎045-261-1231 |
| Booksなかだ | 本店 | 〒939-8212 富山市掛尾町180-1
☎076-492-1192 |
| うつのみや | 柿木島本店 | 〒920-0962 金沢市広坂1-1-30
☎076-234-8111 |
| 平安堂 | 長野店 | 〒380-0825 長野市末広町1355-5
☎026-224-4550 |
| 精文館 | 書店 | 〒440-8517 豊橋市広小路1-6
☎0532-54-2345 |
| ちくさ正文館 | 本店 | 〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1
☎052-741-1137 |
| ジュンク堂書店 | 京都店 | 〒600-8005 京都市下京区四条富小路角
☎075-252-0101 |
| 旭屋書店 | 本店 | 〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6
☎06-6313-1191 |
| ジュンク堂書店 | 大阪本店 | 〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20
堂島アバンザ1～3F
☎06-4799-1090 |
| ジュンク堂書店 | 千日前店 | 〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7
Y. E. S. N A M B Aビル |

ジュンク堂書店	三宮店	☎06-6635-5330 〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
フタバ図書	T E R A	☎078-392-1001 〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
りーぶる	天神	☎082-561-0770 〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッピングプラザ6F
ジュンク堂書店	福岡店	☎092-713-1001 〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル
		☎092-738-3322

2010年12月現在

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴懇リバイバル2010 フェア参加店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2010年10月15日現在

札幌市	ジュンク堂書店札幌店	名古屋市	三省堂書店名古屋高島屋店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店
*仙台市	ジュンク堂書店仙台店	名古屋市	ジュンク堂書店
仙台市	東北大学生協文系書籍店		ロフト名古屋店
仙台市	丸善仙台アエル店	名古屋市	フタバ図書 TERA
山形市	八文字屋書店本店		ワンダーシティ店
つくば市	ACADEMIA イーアス	津市	別所書店修成店
	つくば店	京都市	アバンティ・ブックセンター
つくば市	丸善筑波大学会館店	京都市	大垣書店京都駅前店
前橋市	ブックマンズ	京都市	京都大学生協書籍部ルネ
	アカデミー前橋店	*京都市	ジュンク堂書店京都店
高崎市	ジュンク堂書店高崎店	京都市	ジュンク堂書店
さいたま市	ジュンク堂書店大宮		京都 BAL 店
	ロフト店	京都市	同志社生協書籍部今出川店
*さいたま市	須原屋本店	京都市	立命館生協存心館
*千代田区	岩波ブックセンター信山社		ブック&サービス
千代田区	三省堂書店神保町本店	*大阪市	旭屋書店本店
*千代田区	東京堂書店本店	大阪市	喜久屋書店阿倍野店
千代田区	丸善丸の内本店	大阪市	ジュンク堂書店梅田
文京区	東京大学生協本郷書籍部		ヒルトンプラザ店
渋谷区	紀伊國屋書店新宿南店	*大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
渋谷区	東京大学生協書籍部	*大阪市	ジュンク堂書店千日前店
	駒場店	大阪市	ジュンク堂書店天満橋店
新宿区	ジュンク堂書店新宿店	大阪市	ジュンク堂書店難波店
*新宿区	芳林堂書店高田馬場店	大阪市	ブックファースト梅田店
*豊島区	ジュンク堂書店池袋本店	奈良市	くまざわ書店奈良店
横須賀市	平坂書房 MORE'S 店	奈良市	啓林堂書店奈良ビブレ店
藤沢市	有隣堂藤沢店	神戸市	海文堂書店
新潟市	紀伊國屋書店新潟店	*神戸市	ジュンク堂書店三宮店
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店
*富山市	Books なかだ本店	西宮市	ジュンク堂書店西宮店
*金沢市	うつのみや本店	姫路市	ジュンク堂書店姫路店
*長野市	平安堂長野店	鳥取市	今井書店吉成店
静岡市	戸田書店静岡本店	松江市	今井書店グループ
静岡市	谷島屋呉服町本店		センター店

岡山市	フタバ図書 MEGA 岡山青江店	福山市	フタバ図書 ALTI 福山本店
倉敷市	喜久屋書店倉敷店	徳島市	紀伊國屋書店徳島店
広島市	ジュンク堂書店広島駅前店	松山市	愛媛大学生協城北ショップ
広島市	フタバ図書 MEGA 祇園中筋店	松山市	ジュンク堂書店松山店
* 広島県	フタバ図書 TERA 広島府中店	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
東広島市	広島大学生協北1コープ ブック書籍部	福岡市	九州大学生協書籍部文系店
		* 福岡市	ジュンク堂書店福岡店
		大分市	ジュンク堂書店大分店
		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店
		那覇市	ジュンク堂書店那覇店

歴懇ニュース

はやいもので、今年（2010年）もくれようとしています。今年1年はみなさまにとってどのような年でしたでしょうか。もちろん、一言で言い表せるようなものではなく、「こんなうれしいことがあったよ」とか「こんな悲しい出来事があった」などいろいろ、まさに「悲喜こもごも」かと思えます。しかし、どんなときも「得意淡然、失意泰然」の気持ちで事に当たれば、何とかなる……と自戒を込めて考えます。来る2011年も、本年同様、歴史書懇話会会員社は、1点1点、思いの詰まった歴史書をお届けしてまいります。どうか、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

みなさまにとって、よい2011年となりますように。

……………歴懇フェアのお知らせ……………

●月代わりで、「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを下記の6書店で開催しています

◇TENDO 八文字屋（天童市）／◇東北学院大学土樋店（仙台市）

◇紀伊國屋書店新潟店（新潟市）／◇ブックデポ書楽（さいたま市）

◇芳林堂書店高田馬場店（東京都）／◇今井書店グループセンター店（松江市）

●ジュンク堂書店新宿店「これが歴史書だ！フェア」

第26回目「歴史書懇話会フェア 文化文政の町人文化～幕府諸藩の財政窮乏」

12月1日～1月31日

●全国の書店で、歴史書懇話会の売行良好書をセットにした「歴史書ベストフェア」を開催中です。歴史書懇話会創立40周年の小豆色の帯が目印です

雑誌定期購読のご案内

1 年間予約で、
日本全国どこへでもお届けします！

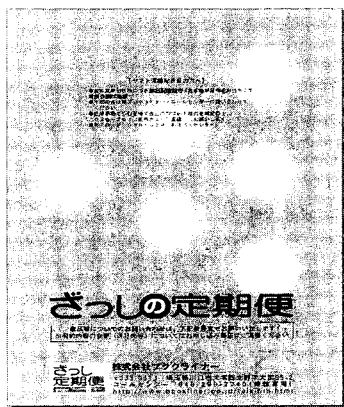
書店様店頭でのお受取りか、ご自宅または指定先への送付か選べます。ギフトにもどうぞ。

2 予定外の
特価号があっても、
追加料金はいただきません！

購読料金には予定されている特価が含まれる場合がございます。

3 さらに、商品によっては
うれしい特典が！

割引やプレゼントがもらえる商品がございます！



グリーンのパッケージで

完全個別包装にてお届けします

ざっしの
定期便
株式会社 フックライナー

の雑誌定期

ざっしの定期便

縄文時代の考古学 全十二巻完結

小杉康・谷口康浩・西田泰民・水ノ江和同・矢野健一編
 定価各五二五〇円 *印は六三〇〇円 (B5判)
 資料の肥大と研究の細分化とによる縄文時代の学問的把握が困難化するなかで企画されたシリーズ。五年を経て完結。
④ 人と動物の関わりあい 食料資源と生業圏
 【最新刊】縄文時代の環境変動で、人は食料資源である動物とどのように関わりあっていたのかを明らかにする。

- ① 縄文文化の輪郭 比較文化論による相対化
- ② 歴史のものさし 縄文時代研究の編年体系*
- ③ 大地と森の中で 縄文時代の古生態系
- ⑤ なりわい 食料生産の技術
- ⑥ ものづくり 道具製作の技術と組織 *
- ⑦ 土器を読み取る 縄文土器の情報 *
- ⑧ 生活空間 集落と遺跡群
- ⑨ 死と弔い 葬制
- ⑩ 人と社会 人骨情報と社会組織
- ⑪ 心と信仰 宗教的観念と社会秩序 *
- ⑫ 研究の行方 何が分からなくて何をすべきか *

世界の考古学 第Ⅱ期完結

藤本強・菊池徹夫 企画・監修
⑩ インダスの考古学 (四六判)
 近藤英夫著
 二一〇〇円
 【最新刊】南アジア最古の都市文明であるインダスについて、主に発掘調査の考古学資料を分析し、国際関係の中で考察。

- ⑪ ヴァイキングの考古学 ヒースマン 姿子著 二六二五円
- ⑫ 中国の埋められた銭貨 三宅俊彦著 二九四〇円
- ⑬ ポンペイの歴史と社会 R・リング著 二八三五円
- ⑭ エジプト文明の誕生 高宮いづみ著 二九四〇円
- ⑮ 人類誕生の考古学 木村有紀著 二六二五円
- ⑯ ムギとヒツジの考古学 藤井純夫著 三三六〇円
- ⑰ 都市誕生の考古学 小泉龍人著 二六二五円
- ⑱ チンギス汗の考古学 白石典之著 二六二五円
- ⑳ 稲の考古学 中村慎一著 二八三五円
- 世界の考古学 第Ⅰ期完結
- ① アンデスの考古学 改訂版 【最新刊】 関雄二著 二九四〇円
- 世界の考古学 第三期好評発売中
- ② バビロニア都市民の生活 S・ダリー著 【最新刊】 二九四〇円

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税抜き)
 TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
<http://homepage3.nifty.com/douseisha> E-mail:douseisha@nifty.com



逸脱する百姓

菅野八郎からみる一九世紀の社会

須田 努編



菊判 三三二頁
定価六八二五円

菅野八郎は幕末維新を駆け抜けた福島の小前百姓であるが、民衆運動指導者としてよく知られている。本書は、菅野八郎の青年期から晩年までの活動と思索を通して一九世紀の社会、文化の様相を解き明かそうとした。また八丈島流刑の新資料をもとにその実像を見直し実証的に追究した共同研究

時代考証学ことはじめ

新しい学問である『時代考証学』の確立をめざし、関連諸学問との研究成果を総合する



A5判 二五六頁
定価二五二〇円

大石 学・時代考証学会編 第一部では、時代考証学の確立をめざすために、専門分野の研究が時代考証を考察し、第二部では、研究者によるそれぞれの立場とテーマでその関連性を論究したシンポジウムの記録

東大寺辞典 新装版 復刊

平岡定海著 東大寺の歴史と文化の全貌をとらえるべく、人名・地名・寺名・塔頭・書籍・美術・工芸など幅広く二〇〇余項目を解説。その全容を明らかにした四二〇〇円

仏像事典 復刊

久野 健編 全体を二部に分け飛鳥から江戸時代までの制作年代のわかる基準的な作例九四〇図を仏像の種類別に図示し、第二部で仏像関連事項一七四〇を解説。八九二五円

国立歴史民俗博物館

総合展小室(現代)の世界 全三巻

国立歴史民俗博物館・安田常雄・原山浩介編 展示室は二〇一〇年三月に開設したが、オープンに向けて行われた三回のシンポジウムの講演記録。「戦争と平和」「占領下の民衆生活」「戦後日本の大衆文化」の三冊発売中各三一五〇円

南北朝遺文 関東編 全六巻

佐藤和彦・山田邦明・伊東和彦・角田朋彦編 元弘三年から明德六年までの六十年間の関東八ヶ国と伊豆、駿河、甲斐、信濃、越後、佐渡を加えた十四ヶ国の地域の文書六〇〇通を収録した貴重な史料集。第四巻迄各一六八〇〇円



東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17
電話03-3233-3741 FAX03-3233-3746

(価格税込)

http://www.tokyodoshuppan.com

この1冊から始まる世界史への道

新しい時代の新しい歴史1001冊

【内容完全本】
世界史の鏡 樺山紘一編
四六並製 一六〇頁 各¥二六八〇

歴史家たちのユートピアへ 国際歴史学会議の百年
樺山紘一著 〇巻 ◆歴史家の苦悩と喜びを振り返る

ハイチの栄光と苦難 世界初の黒人共和国の行方
浜忠雄著 地域6 ◆独立後200年の危機ハイチから見た世界史

イタリア都市の諸相 都市は歴史を語る
野口昌夫著 都市4 ◆歴史が層になつて見える都市

本を読むデモクラシー 読者大衆の出現
宮下志朗著 情報3 ◆日仏庶民の読書初めはいつか?

ナイル 地域をつむぐ川
加藤博著 地域7 ◆文明の十字路／人種と民族のつづき

イブラヒム、日本への旅 ロシア・オスマン帝国、日本
小松久男著 地域10 ◆アジア主義者との深い絆

中国明末のメディア革命 庶民が本を読む
大木康著 情報4 ◆500年前の輸入り小説大流行

ジハードの町タラース イスラーム世界と
キリスト教世界の狭間
太田敬子著 都市3 ◆聖戦のための前線基地

森と川 歴史を潤す自然の恵み
池上俊一著 環境9 ◆ヨーロッパ中世の人と自然。新しい環境史

イギリス発見の旅 学者と女性と観光客
指昭博著 情報6

16世紀から18世紀当時、旅を通じてイギリスを知ることになつた人々、好古史家たち、測量家・女性の一人旅 etc. イギリスの自国意識誕生を「旅による発見」という視点から描く

最新刊
10冊目

全101巻・現在第1期51巻 続々刊行・好評です

1月刊

2010年の新刊・重版・復刊 好評発売中!

チベット諸族の歴史と東アジア世界
川勝守著
A5箱 五五〇頁 ¥一五七五〇

百年戦争 中世末期の英仏関係 万水歴史全書80
城戸毅著
四六上製 三三〇頁 ¥三二五〇

階級という言葉語 イングランド労働者階級の政治社会史
G・ステッドマン・ジョーンズ著／長谷川貴彦訳（人間科学叢書44）
A5上製 三三〇頁 ¥四七五

飢饉・市場経済・村落社会 天保の凶作からみた
長谷部弘・高橋基泰・山内太編
A5上製 一四〇頁 ¥三九九〇

割地慣行と他所稼ぎ 越後蒲原の村落社会史
中村義隆著
A5上製 二五〇頁 ¥三九九〇

戦争未亡人の世界 日清戦争から太平洋戦争へ
千代田明子著
A5上製 二〇〇頁 ¥二九四〇

東北開発 一三〇年「増補版」 人間科学叢書22
岩本出輝著
A5上製 二二〇頁 ¥二五二〇

もう一つの遠野物語「増補版」 万水歴史全書15
岩本由輝著
四六上製 二七五頁 ¥二二一〇

曹操 三国志の真の主人公 万水歴史全書52
榑敏一著
四六上製 二三〇頁 ¥二九四〇

10月 歴史リバイバルで2010年ぶりの復刊
ソロウイフ 三つの会話（改訂版 戦争・平和・終末
著作集5） 鷲巣繁男解説（一九八二年刊）
V・S・ソロウイフ著／御子柴道夫訳 四六上製 二八二頁 ¥三二六五

中世イスラーム国家の財政と寄進 後期マムルーク
朝の研究
五十嵐大介著
A5箱 三五〇頁 ¥七三三五〇
マムルーク朝史の全体像を問い直す新研究

【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館

 万水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

安丸良夫・喜安 朗 編

戦後知の可能性

(歴史・宗教・民衆)

戦後日本の新たな現実と向き合い、学知探求の道筋を模索していった先学たちの軌跡をたどり、戦後啓蒙から出発した知の変貌のさまを示し、知の可能性を再考する。

執筆者：安丸良夫／喜安 朗／磯前順一／島園 進／
臼杵 陽／林 淳

イギリス史研究入門

近藤和彦 編

議会を中心とする近代政治のモデルをなした複合国家イギリス。その伝統ある歴史研究へのアプローチの方法を主要なテーマから明らかにする、研究入門の決定版。

418頁 2625円
[アメリカ史研究入門 好評発売中]

インドから

水島司 著

四六判 232頁(カラー107頁) 2940円
南アジアの農村でフィールドワークを始めて25年。南アジア史の研究者が日常生活の視点から平易な言葉でインドの昔と今を語る。カラー写真186点を満載したビジュアル版学術エッセイ。

日本史リブレット

各840円

- 39 足利義満(法皇への夢を追った華麗な生涯)伊藤喜良
- 48 徳川光圀(「黄門さま」で名高い水戸藩主)鈴木暎一
- 52 田沼意次(「商業革命」と江戸城政治家)深谷克己

古代山城 鞠智城を考える

2009年東京シンポジウムの記録 笹山晴生 監修
近年の発掘で、国内初の八角形建物、貯水池跡、百済系菩薩立像、木簡など多くの遺構や遺物が発見され、注目を集めている鞠智城跡。その歴史的意義と今後の課題を考える。

A5判 184頁+口絵8頁 1575円

旧石器遺跡捏造事件

元文化庁主任文化財調査官 岡村道雄 著 1680円
2000年11月5日、「捏造」が発覚した。25年間にわたり続けられた捏造は、なぜ見破られなかったのか? 当事者との再会を機に、封印された疑問の数々を考古学の信頼回復と著者自身の反省を込めて説明する。

口語訳 即興詩人

安野光雅 著

原作：アンデルセン 文語訳：森鷗外
四六判 上製カバー装 608頁 1995円
明治以来、森鷗外の美しい文語訳で親しまれてきた「即興詩人」。ローマを追われ、ナポリ・ヴェネツィア・ミラノと、ギターを弾き即興詩を謳いながらイタリア各地を彷徨う主人公の波瀾に富んだ人生を、安野光雅が優しい言葉で紡ぎ出す。

2011年版 山川歴史手帳

735円

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

現代語訳

大石 学・佐藤 宏之
小宮 敏和 野田 朋隆 編

家康公伝 全10巻

鳴くまで 堪え忍ぶ家康の成功道

徳川実紀

刊行開始!
関ヶ原の勝利
(第一回) 2310円●11月の新刊

おもしろい。読みやすい。
どこから読んでも楽しめる。
江戸幕府の大編年史を、初めて現代語訳化。

定本 徳川家康

本多隆成著 二六〇年にわたる将軍家康の礎を築いた「天下一人」の生涯を、詳細平易に叙述。相次ぐ新説も丁寧に検証した、家康渾身の決定版。2940円●11月の新刊

歴史文化ライブラリー

祇園祭

祝祭の京都
川野將生著 古都京都の夏を飾り、毎年何一万人もの人々を魅了する祇園祭。その祭りに対して一大イベントになったのか。祝祭都市のルーツに迫る。●11月の新刊

吉兆 湯木貞一

料理の道
末廣幸代著 吉兆のもてなしの心とほどきのように生まれたのか。創業者湯木貞一の生き方と人となり。●11月の新刊

話し言葉の日本史

野村剛史著 日本人どのような言葉で「話し」たのか。方言集から歌謡俚言まで、日本人の「話し」感をたどる。●12月の新刊

幕末の海防戦略

異國船を 隔離せよ
上白石 実著 海防とは何か? 「開港」求める異國船「海禁」守る幕府。●12月の新刊

事典 人と動物の考古学

西本豊弘 新美倫子 編

原始時代より、人は動物とともに生活してきた。発掘された骨や遺物から、道具や装身具としての利用法だけでなく、解体方法や料理法も解明。日本人と動物との多様な関わりを描く。3360円●11月の新刊



なぜ都は転々と遷つていったのか。古代の都の繁栄を照らし出す。 各2940円

古代の都 全3巻

飛鳥から藤原京へ
木下正史・佐藤 信綱 著 古代の都にみる国家の成り立ち。文明の明滅。東海四国史の教科書。●11月の新刊

山上憶良

(人物叢書26)
福岡 耕著 人生の最晩年にたぎらせた憶良の歌と人生。2310円●11月の新刊

神と仏と日本人

宗教人類学の構想
佐々木弘著 家に仏壇と神棚をもち、正月には神仏に手を合わせる日本人の宗教観とは。現代宗教の役割を考へる。1995円●歴史文化セブン

江戸のひとと身分

全6巻 「身分制」という格差
きくさく 著 社会の中で人びとは「身分」によっていかに生きたのか。(内容内訳)キリシタン、近世的「悪党」、朝鮮・中国流の身分。一人の視点で「身分」を問う。直す。シリーズ全巻完結!

身分論をひろげる

●12月の新刊(最終回)
大橋 繁・深谷 克己 編

日本の対外関係 全7巻

●12月の新刊(最終回)
荒野 典・石井 正敏・村井 兼介 編 (内容内訳)シヤ通商圏の中の日本に迫る。●12月の新刊

奈良甲冑師の研究

宮崎 隆彦 著 甲冑師の実態を徹底検証。初めて成る開刊的実考。31500円●12月の新刊

東アジアの兵器革命

十六世紀中国に渡つた日本の鉄砲
久芳 素著 11月の新刊 ●12月の新刊

世界の城郭 全4冊

イギリスの古城
ヨーロッパの古城
城郭の発達と城郭の文化
●11月の新刊 ●12月の新刊

日本古代氏族人名辞典

普及版
坂本太郎 監修
平野 邦雄 編

大化前代から律令時代まで、二八〇〇項目を網羅した大人名辞典。古代史を知るために必備の辞典。待望の全新巻復刊! 5040円●11月の新刊(内容内訳)



吉川弘文館 〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話 03-3813-9151 (価格ほ税込) http://www.yoshikawa-k.co.jp/

歴史手帳 2011年版 900円 10月の新刊

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <休会>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中岡田町2-7 <担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル<担当者・豊田達也>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 101-0054 千代田区神田錦町3-6 石澤ビル3F <担当者・須藤 圭>
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2011年1月1日発行・第193号

発行 **歴史書懇話会**

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店